

対象国の条件：

研修コース番号：(A) 201984591-J002/(B) 201984973-J002

案件番号：(A) 201984591/(B) 201984973

主分野課題：資源・エネルギー/エネルギー供給

副分野課題：

使用言語：(A) 英語/(B) 英語

案件概要

系統運用事業者（電力系統の計画・建設・運用を担う事業者）は、JICAが電力セクターで協力事業を進めるにあたり、スキーム問わず重要な関係機関であり、加えて、インフラシステム輸出を推進する上でもキーとなり得る機関である。従って、本研修では、対象国系統運用事業者の経営層に対し、日本の電力系統運用分野の政策及び技術に関する理解を促すとともに、関係者とのコネクションを構築することに主眼を置いた研修とする。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 国家基幹電力系統の増強・信頼度向上といった課題解決に向け、本研修を通じ、世界トップレベルの信頼性を誇る我が国の電力系統技術及びそれを支える電力機器製造企業への理解が深まる。</p> <p>【成果】 1. 自国の電力事情及び電力系統に関する課題や問題点を把握し、説明できる。 2. 日本の系統運用事業の概要・マネジメント手法に関する理解が深まる。 3. 日本の系統運用事業を支える、日本製品、システムに関する理解が深まる 4. 自国の系統運用事業の課題に対する改善策が立案される。</p>	<p>【対象組織】 国家基幹系統の運用機関</p> <p>【対象人材】 (1) 国家基幹系統の運用機関に所属する、経営層の職員。例えば、技術部門担当役員、系統計画部長、中央給電所長、建設部門長、調達部門長等 (2) 大学卒業もしくは同等の資格を持つ40歳以上55歳以下の者でかつ、十分な英語能力を有する者。 (3) 心身ともに健康で、長期研修に耐える者。</p>	
<p>内 容</p> <p>1. ①カントリーレポートの作成 ②カントリーレポートのプレゼンテーションとディスカッション 2. ①電力システム改革の紹介を中心とした日本の電気事業制度の講義 ②系統計画の考え方・系統解析システムについての講義・デモンストレーション ③系統運用技術について講義（需給制御、保護の考え方等） ④広域運営の概要・実務についての講義 ⑤再生可能エネルギー普及策及び普及に向けた系統運用事業者側の対策についての講義 ⑥送変電設備の建設・運用・保守についての講義 ⑦日本のTQM活動についての講義 3. ①日本卸電力取引所（JPEX）や電力広域的運営推進機関（OCCTO）等の視察 ②発電所・給電指令所等の見学 ③電力機器製造工場の見学 4. 研修の成果を踏まえ、自国の系統運用事業の改善策を立案、発表</p>	<p>本邦研修期間</p>	<p>(A) 2019/5/15～2019/6/8 (B) 2019/10/2～2019/10/26</p>
	<p>担当課題部</p>	<p>産業開発・公共政策部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>(A) JICA関西（業務二） (B) JICA関西（業務二）</p>
	<p>関係省庁</p>	<p>経済産業省</p>
	<p>実施年度</p>	<p>2018～2020</p>

主要協力機関 (A) 一般社団法人 海外電力調査会/(B) 一般社団法人 海外電力調査会

特記事項及びホームページ この研修コースは、国連持続可能な開発目標（SDGs）のうち、目標7（エネルギーをみんなに、そしてクリーンに）、目標9（産業と技術革新の基盤を作ろう）、目標17（パートナーシップで目標を達成しよう）の目標達成を目指すものです。